

- ▶ 宇美町では以下の取組による木材利用を通じて、町民が木と身近にふれあうことにより、森林整備に対する理解の醸成に取り組んだ。
 - ・ 担当課窓口デスクマットを設置することで、普段木とふれあうことのない町民が、木とふれあえる場を設けた。
 - ・ 出生届を提出された方へ、子供が幼少期から木材への親しみを感じてもらえるように、木製スプーンを配布した。
- ▶ 翌年度以降に実施する森林所有者意向調査業務の準備作業として、林地台帳システムに森林情報を反映させた。
- ▶ 令和3年度は、森林所有者意向調査業務を進めるとともに、町内森林の整備事業を計画。

□ 事業内容

1. 公共施設内設備の木質化事業

- ・ 担当課窓口デスクマット設置を実施。
- ・ 利用者からは、「ひのきの良い香りがする」等の感想をいただいた。

【事業費】 55千円（うち譲与税55千円）

【実績】 木材使用料0.1㎡



（事業1：公共施設内設備の木質化事業）

2. 木製スプーンの配布

- ・ 出生届を提出された方に町制施行100周年事業として、「100周年」と「百日祝い」をかけ、お食い初めで使用してもらえよう、100周年記念ロゴを印字した木製スプーンを配布した。（平成31年度からの継続事業）
- ・ 受け取った方から、「手触りが良い」「デザインも良く記念品として保管したい」等の感想をいただいた。

【事業費】 634千円（うち譲与税634千円）

【実績】 250個製作（平成31年度から継続事業、計350個製作）



（事業2：木製スプーンの配布）

□ 事業スキーム

2 木製スプーンの配布



□ 工夫・留意した点

- ・ 単に木製スプーンを配布するだけでなく、町制施行100周年と連携することで、記念品としての希少価値を出した。
- ・ 塗料等を使用せず木の加工のみとすることで、手触りが良く幼児の口に合うデザインとした。

□ 基礎データ

①令和2年度譲与額	4,078千円
②私有林人工林面積（※1）	430.66ha
③林野率（※2）	60.8%
④人口（※3）	37,927人
⑤林業就業者数（※4）	0人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より